

# 「福祉」について体験的に学ぶことで、理解を深めることができました

## 1年 JRC福祉体験学習 1月18日(土)

本校は、青少年赤十字 = JRCの加盟登録校です。ここ数年は感染症対策のため活動を休止してきましたが、本年度から徐々に再開し始めました。

・8/17・18

「リーダーシップ・トレーニング・センター」への代表生徒参加

・10/8～11

生徒会本部による「能登半島大雨災害募金活動」

・12/9

JRC美化委員会による「JRC清掃ボランティア」(地域清掃)



そして今回は、1年生が「総合的な学習の時間」として「福祉体験学習」に取り組みました。これは、本校の「総合的な学習の時間」が、学年ごとにテーマを設定しており、1年生は「福祉」をテーマとしていることから、その一貫として行いました。



1月18日(土)、1・2・3組と4・5組とで交代しながら、2Fアリーナ会場で「ポッチャ体験」を、1F 武道場会場で「高齢者等疑似体験」を実施しました。

「疑似体験」では、装具を使っでの「高齢者」「妊婦」の疑似体験をしました。アイマスクやおもり、サポーター等を実際に装着してみると、いかに身体の動きが制限されるかを身をもって知ることができ、どんな支援や配慮が必要なのかも実感をもって理解することができました。

「ポッチャ体験」では、チームに分かれ、対抗戦を行いました。「投げる」だけの簡単な競技のようですが、状況に応じて作戦を組み立てていく奥深さがあり、白熱した競技会になりました。こうした、年齢・性別・障がいに関わらず、すべての人が一緒にできる競技の可能性と楽しさを知ることができました。



実施にあたり、装具等を日本赤十字社東京都支部及び荒川区ボランティアセンターから、競技資材を荒川区役所スポーツ振興課からお借りしました。また、ポッチャの会場設営・競技運営では、荒川区スポーツ推進委員の方々にご準備・ご指導等いただきました。ご協力いただき誠にありがとうございました。